

(1)

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

振り返る

2015年紙面から

▷9、10月

【9月】

1日付||紀勢自動車道の南紀田辺インターチェンジ(ICC)―すさみ南ICC間の全線が開通。すさみICC近くの広場で記念式典やイベントがあり、雨の中参加した約2千人が開通を祝った。

4日付||紀伊半島大水害から4年。田辺市の熊野や本宮町三越、那智勝浦町の那智川流域では復旧工事が

続く。

15日付||第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」の体操競技で、県チームが成年男女そろって優勝。成年男子で田辺工業高校出身の柴田快輝さんと楠川雄太さんが出場し、日本一に貢献した。

17日付||上富田町と熊野高校が、連携を深めてまちづくりに取り組みようと協定を結ぶ。

【10月】

4日付||国体のカヌースプリント競技で田辺市出身の阪本直也選手が成年男子カナディアンシングル500分で優勝。阪本選手は後日、同200分でも優勝した。

7日付||国体で和歌山県の男女総合(天皇杯)優勝が決まった。優勝は1971年の黒潮国体以来、2回目。女子総合(皇后杯)は

26日付||国体と地方視察のため、天皇、皇后両陛下が来県された。両陛下の来県は全国植樹祭以来4年ぶり。

27日付||国体の総合開会式が和歌山市の紀三井寺公園陸上競技場であった。

2位。

10日付||農林水産省は、大筋合意した環太平洋連携協定(TPP)で、幅広い農林水産物の関税を撤廃すると発表。ミカン産地である紀南の農家から戸惑いの声が出た。

18日付||紀南地方のJR紀勢線の駅にあるアートを列車に乗りながら楽しむ「紀の国トレイナート」がスタート。

20日付||大相撲田辺巡業「紀州梅の郷場所」が田辺市の田辺スポーツパークであり、観客約3千人を沸かせた。

25日付||第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」が開幕。期間中に県内7市町で正式13競技とオープン2競技が行われた。

国体で天皇杯、田辺で大相撲



和歌山県が男女総合優勝を飾った紀の国体わかやま国体(10月、写真は閉会式)